

事業者向けセキュリティセミナーの開催 11月9日(水)

11月の防犯対策

令和4年11月1日
(公社) 滋賀県防犯協会



今やインターネットは事業・経済活動に不可欠な存在となっております。ところが、サイバー空間では、ランサムウェアの感染、フィッシングサイトによるアカウント窃取、インターネットバンキングによる不正送金、脆弱性を悪用した情報窃取などのサイバー攻撃被害が拡大し深刻な脅威となっております。被害は小さな事業者でも発生しており、ひとたび発生すると事業活動の継続に大きな影響を与えているのが現状です。

滋賀県防犯協会では、こういった現状に鑑み、滋賀県警察本部のサイバー犯罪対策課及びNTT西日本のセキュリティ専門家による事業者向けセキュリティセミナーを無料で開催します。

日時 令和4年11月9日(水)
午後2時～午後4時30分

場所 大津市打出浜1番10号
警察本部北棟2階大ホール

パソコン等の機材数に限りがあり、既に数社の事業所様にお申し込みいただいておりますが、まだ空きがございますので、受講希望の事業者様がおられましたら、協会事務局(077-1525-16529)までご連絡ください。



サイバー犯罪相談増加 特に関心を持って欲しい4つの事例

フィッシング

メールやSMSを使ってユーザーを偽サイトに誘導し、ID・パスワードやクレジットカード情報等を入力させて、それらの情報を盗み取る手口です。

- ・フィッシングサイトで無断で買物される
- ・クレジットカードを無断で使用される
- ・パスワードを変更される
- ・間サイトで個人情報売られる

等の被害が発生しています。

▼被害防止のポイント

- ・メール等に記載されたリンク(URL)をクリックしない
- ・ID・パスワードは、必ず公式サイトから入力する

▼被害防止のポイント

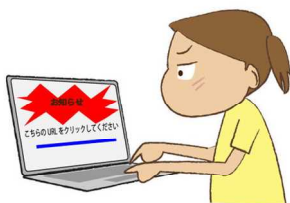
支払い方法が銀行振込だけの場合は要注意。会社の存在や連絡先が正しいか確認してください。

▼被害防止のポイント

画面に突然、偽のセキュリティ警告等のメッセージを表示させたり、偽のウイルス感染を音声で知らせたりして、不安を煽り、画面に表示された電話番号に電話をかけさせ、パソコンを遠隔操作するソフトウェアをインストールするよう促す。

サポート詐欺

画面に突然、偽のセキュリティ警告等のメッセージを表示させたり、偽のウイルス感染を音声で知らせたりして、不安を煽り、画面に表示された電話番号に電話をかけさせ、パソコンを遠隔操作するソフトウェアをインストールするよう促す。



「口座設定による本人確認手続き」
下記URLでご確認が必要です。
<http://www.●●●.com>

滋賀県内の犯罪情勢

県内の犯罪は、9月末で4,800件を超え、前年比630件と増加の一途をたどっています。

特殊詐欺は10月18日に多発注意報が発令されているように、市役所職員や金融機関職員を名乗って暗証番号を聞き出しキャッシュカードをだまし取る手口や実在する会社を装って携帯電話に「料金未納」名目のメールを送りつけ電子マネー等で振り込ませる手口が多発しています。身に覚えのない話は聞くことなく家族、知人や警察に相談してください。

し、有償のサービス契約やサポート料金を請求する手口です。

▼被害防止のポイント

- ・警告は偽物です。電話しないでください。
- ・偽警告画面は「X」ボタン等で消すことができます。

投資や副業を装った詐欺

SNSやマッチングアプリ等を通じて、知り合った人から投資や副業等の話を持ちかけられて金銭(暗号資産)をだまし取られるケースです。

(例) SNSで異性と知り合って投資を勧められた外国人から資金を送る協力を依頼された余命宣告を受けた人から遺産を譲りたいと言われた

話を聞くだけで稼げると言われた
「〇〇を評価するだけの仕事」を紹介された

「ロマンス詐欺」

外国人などを名乗り、ネットで知り合った相手に恋愛感情を抱かせて現金を騙し取る手口

▼被害防止のポイント

- ・儲かる話は信用しない。
- ・投資や金銭(暗号資産)の送金は慎重に行ってください。